



# ぐるっとマップ

## No.293 兵どもが夢の跡

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

**保存版**

大町市に県内屈指の規模の山城があるのをご存知でしょうか。「木舟城」です。今年から、地元有志で作る研究会で保存・整備の活動が行われています。今回のマップでは、木舟城を含む大北地域の主な山城を紹介します。

### 城の分類

- 1 4 5 武田氏に最後まで抵抗し、1557年の武田軍の北安曇侵攻で滅ぼされた。
- 2 3 6 9 ~ 11 14 15 在地の豪族や仁科氏の家臣の城。
- 7 12 仁科氏の本拠地。 16 ~ 18 仁科氏直轄領の南辺の国め。
- 8 13 主要交通路上であり、東の境でもあるために激しい争奪戦が行われた。

### 4. 一夜山城(別名飯森城)(仁科一族飯森氏)

1557年の武田軍侵攻の折、城主飯森春信は一晩のうちに平倉城へ逃亡。これにより一夜城と呼ばれるようになった。

### 5. 飯田城(別名月夜沢城)(大日方氏)

小笠原氏から分かれ村上勢となつた大日方氏による築城とされる。広範囲に遺構が見られ、白馬地方最大の城塞を持つが一夜城の次に攻められ落城した。付近の山頂には多くの城塞跡が残る。

### 6. 三日市場城(仁科氏重臣沢渡氏)

沢渡氏は仁科氏と共に武田氏に臣従した。遺構はよく残り、武田氏流の放射状の縦堀が連続している。



森城跡地

### 7. 森城(仁科氏)

平安時代後期から戦国時代までこの地方を治めた豪族仁科氏の本拠。木崎湖に突き出した半島状の地形を利用した水城で、本丸跡は現在は仁科神社になっている。



西山城址二の廓二重堀切

16. 西山城(矢口氏)大町市と松川村の境となる尾根上に、一の廓から三の廓までが構えられ、仁科氏直轄領の南辺を守る重要な砦であった。矢口氏の居城といわれ、今も当時の状態がよく残っている。



観勝院山城の搦め手堀切

### 17. 観松院山城(仁科一族大和田氏)

仁科氏の氏族大和田氏が守っていたと伝えられ、西山城と並んで西南の敵に備えた城砦群の一つ。尾根を利用した山城で、遺構はよく残っている。

### 18. 布上城(大和田氏?)

西山城の支城で尾根肩の急峻なピークに築かれた砦。城主は明らかではないが大和田氏との説もある。

このマップでは、四季折々の地域の魅力を再発見するために、皆様から情報をいただきながら様々な切り口で紹介してまいります。  
ぐるっとネットワーク大町事務局 TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557  
ホームページ http://www.grutta.net

1. 平倉城(仁科一族飯森氏)小谷地方の支配の拠点。武田軍の1557年の北安曇侵攻の際、飯森春信は白馬の飯森城を捨てて平倉城に籠るが壊滅した。東麓には「切った屋敷」跡があり、飯森勢の男子は残党狩りで皆殺しにされたといわれる。



平倉城遠望

### 2. 黒川城(仁科一族千国氏)

平倉城落城後は武田による小谷支配の拠点となった。

### 3. 千国城(黒川城の出城?)

直下には塩の道が通り、街道の掌握に役立ったと考えられる。

### 8. 千見城(大日方氏)

村上勢の大日方氏による築城されたが武田軍の北安曇侵攻の中で落城。大日方軍は武田氏に帰属した。



千見城山頂部郭の様子

千見城は安曇と水内の境界に位置する要衝であり、その後も上杉や小笠原が争奪戦をくり返している。

9. 大塩城 一説に、木曾義仲の二男木曾義重が森城の阿倍貞高を討つために築城したとも伝えられる。

### 10. 雷電城(別名城が峰城)

城主は不明。周辺のほとんどの山城から見通せる絶好の位置と地形。

### 11. 小屋場城(北沢氏?)

旧八坂村の中心部に近く、ここから八坂地区の城の多くを見渡せる。

12. 木舟城(仁科氏)平安時代後期からの仁科氏の城。鳥屋沢をはさんで南城・北城に分かれ県内最大級の城域を誇る巨大山城で、曲輪や堀切がよく残っている。現在「木舟城研究会」による整備活動が始まっている。

木舟城研究会 木舟城の調査研究、保存整備のため活動しています。

多くの方のご支援・ご協力を願っています。お問合せ: 0261-22-6175(北澤)



木舟城おてんじょう裏の切岸と郭

### 13. 丹生子城(仁科氏家臣丹生子氏?)

東山山麓を経て大町に入ってくる道の重要な防衛拠点であり、武田軍の侵攻を防ぐために村上義清に滅ぼされたといわれる。

14. 花岡城(堀之内氏)土塁や堀がよく残り、近くに居館を構えていた堀之内氏の山城と考えられている。



花岡城遠望

### 15. 浪田見城(仁科一族浪田見氏)

浪田見氏の山城で、浪田見集落東南方の尾根筋に沿って郭が残っている。

このマップは大町市文化財センターの協力をいただきながら作成しました。

※このマップは、2021年9月3日付の大系タイムスに掲載されました。

※情報は掲載当時のものです。ご注意ください。

※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。